

# 【参考】新潟県の概要版パンフレット

【表紙ページ】

国内最大の文化の祭典。2019年新潟県初開催！  
第34回 **国民文化祭・にいがた2019**  
第19回 **全国障害者芸術・文化祭にいがた大会**  
2019.9.15(日)~11.30(土)

公式パンフレット(概要版)



文化の丁字路  
～西と東が出会う新潟～

文化の丁字路  
～西と東が出会う新潟～

文化の丁字路  
～西と東が出会う新潟～

文化の丁字路  
～西と東が出会う新潟～

文化の丁字路  
～西と東が出会う新潟～

**文化祭**  
**主役の**  
**みんな**

みんなで創り、みんなで育て、みんなで伝えよう。  
あなたと、あなたの町の新潟文化を。



挑戦

【裏表紙ページ】

### 協力事業のお願い

この文化祭では、新潟県の特色ある地域文化の魅力を国内外に発信するとともに、文化のみに留まらず、観光や産業、食など多様なジャンルと連携・協働を図っていくことにより、交流人口の拡大に繋げ、全県の経済効果に波及していくよう準備を進めているところです。

つきましては、文化祭の開催を広く知っていただき、文化祭を盛り上げていただける物品の開発や販売、イベント等の事業で、2019年11月30日(土)までに実施される事業を募集しております。

企業や団体の皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をよろしくご願ひ申し上げます。

**【協力事業の例】**

- ・文化祭関連商品の開発・販売
- ・自社で開催する、県産品やお土産、文化祭関連品等を販売する文化祭応援フェア
- ・飲食店や宿泊施設等で県の食文化への理解を深めるとともに食材を味わうフェア開催、日替わりメニューやスイーツ等の提供

※事業費を自己資金等により調達する見込みの事業が対象となります。県実行委員会等からの資金補助はありません。  
※企業等の営利を目的とした事業も対象となります。

**【主な特典】**

この文化祭のロゴマークおよびすべてのトッキッキのデザインが無料で使用できます。  
また、公式ホームページ等でご紹介いたします。

**【募集期間】**

2019年6月末まで

**【お申込み方法】**

ご協力いただける場合は、申込書がございますので、必要事項をご記入の上、県実行委員会までお申し込みいただけます。  
詳しくは、下記までお問い合わせいただくか、公式ホームページをご覧ください。



### マスコットキャラクター



新潟県宣伝課長でお馴染みのトッキッキが文化祭のマスコットキャラクターとして就任。障害のある人もない人も一緒に文化活動を行ったり、楽しんだりする様々な衣装に身を包み、県民の皆さんと共に文化祭を盛り上げます。

### スペシャルサポーター NGT48

私たちも応援します!



問い合わせ先 第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭新潟県実行委員会事務局  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 新潟県県民生活・環境部文化振興課内  
TEL.025-280-5177 公式ホームページ <https://niigata-futtotsu.jp/> 文化ふつつ新潟! 検索  
公式Facebook、Instagram、Twitterも是非ご覧ください。   



# 【参考】新潟県の概要版パンフレット

【観音折左側ページ】

【観音折右側ページ】

第34回 国民文化祭・にいがた2019  
第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

2019年秋、「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」を新潟県で開催します。会期中には、県内の7つのエリアやそれぞれの地域の特色を活かしたイベントや、全国規模の文化団体の公演・発表会など様々な文化に触れる事業を県内各地で行います。また、「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」の一体開催により、障害のある人もない人も共に楽しみ、感動を分かち合い、交流の輪を広げていきます。

※掲載内容は2019年12月3日現在のものです。内容は今後、追加・変更になることがあります。

テーマ

## 文化の丁字路 ～西と東が出会う新潟～

北前船によって海路から上方文化、陸路から江戸文化が新潟の地で交差・融合し、「文化の丁字路(ていじろ)」が形成されました。丁字路を日本地図に重ね合わせると、「人」という文字にも見えてきます。西と東が出会う、ここ新潟から、「人の文化」を世界へ、そして未来へ発信していきます。

キャッチフレーズ

## 文化ふつつ新潟!

「ふつつ」とは、主に新潟県の下越地方で使われている方言で、「盛りだくさん」「あふれるほど」という意味で、新潟県の文化の多様性を表現しています。

ロゴマーク



文化ふつつ新潟!  
Bunko Futsutsu NIIGATA

公募により選ばれたこのマークは、新潟県のシルエットを表しています。見る方向を変えると、新潟へと文化を運んできた北前船の帆と船体にもなり、また方向を変えると新潟の象徴的な景観である日本海と夕日にもなります。新潟や新潟の文化を象徴する要素で構成されたシンボルマークです。

白石卓也さん(デザイナー)の作品

開会式

2019.9.16(月・祝)

会場:朱鷺メッセ 展示ホール(ウェブマーケット)

「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」の幕開けにふさわしい基本理念・テーマに沿った式典およびフェスティバルを開催します。

【タイトル】文化の丁字路～西と東が出会う新潟～

西と東の文化が出会う新潟で、文化に「ふれる」「つたえる」「つなぐ」「ひろげる」をコンセプトに、新潟県の歴史的背景、文化的多様性を念頭にいたストーリーでステージを展開します。



閉会式

2019.11.30(土)

会場:新潟県民会館 大ホール

77日間にわたり開催された両大会を振り返るとともに、未来へ向けたメッセージを発信します。

【タイトル】人の文化の発信 ～世界へ、そして未来を担う子どもたちへ～

世界に向け「新潟の新しい創造文化」で「つなぐ」「ひろげる」をコンセプトに、新潟の文化の未来を担う若者たちを中心としたステージを展開します。



閉会式総合  
プロデューサー



作家・法政大学教授 藤沢 周

1959年新潟県生まれ。法政大学文学部卒業。  
1993年「アーツを左に曲がれ」でデビュー。  
1998年「フェノシアレス午前零時」で第11回芥川賞受賞。  
2004年より母校・法政大学の教授に就任。

## 県内7エリアで、各地の特色を活かした事業を展開します。

新潟県開催では、県内を7つのエリアに区分し、地域の文化特性や観光連携を踏まえ、エリア毎に特色ある事業を展開します。

佐渡エリア

佐渡市

テーマ

佐渡金銅山と公家・武家・町人文化  
佐渡金銅山と、佐渡に根付く3つの文化を中心に佐渡が誇る文化を幅広く紹介します。

新潟・阿賀エリア

新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町

テーマ

運ぶ・交わる・創造する  
～川と鉄道が創造した地域文化～  
川や鉄道等により多くの人やモノが運ばれ、交わることで育まれた生活文化や、豊かな自然のもとで発展してきた地域産業などの地域の魅力を幅広く紹介します。

村上・新発田エリア

村上市、北上市、新発田市、新井町、関川村、粟島村

テーマ

旧街(海)道の栄華を今に伝える  
阿賀北のお歴敷・庭園街道  
城下町としての歴史文化や、かつての新潟・北前船の寄港地に残る歴史的建造物(善徳の館・当社、町屋など)や日本庭園の魅力を発信する事業を展開します。



長岡・柏崎エリア

長岡市、柏崎市、小千谷市、見附市、出雲崎町、刈羽村

テーマ

詩(ことば)フェスティバル  
～花火と良寛の地で～  
地域を代表する「良寛・花火」をテーマ素材とし、俳句、短歌、詩を全国から募集し作品展示を行うとともに、愛好者・未経験者を問わず、体験型でことば表現の楽しさ、奥深さを感じてもらう事業を展開します。

妙高・上越エリア

上越市、糸魚川市、妙高市

テーマ

発酵文化の礎を築いた先人たち  
この地域に生まれ、発酵文化の礎を築いた先人たちの足跡や功績を顕彰し、生活に根づく発酵食品や古くから受け継がれる食文化とともに地域の魅力を発信します。

湯沢・魚沼エリア

十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町

テーマ

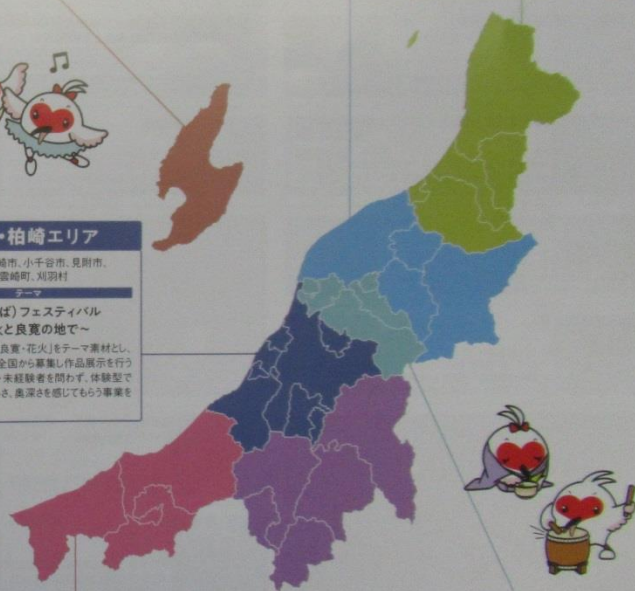
雪国文化博覧会  
～真白き世界に隠された知恵と出会う～  
厳しい雪国の暮らしの中から生まれた知恵や工夫を文化と捉え、世界有数の豪雪地であるこの地域の文化を総合的に発信する事業を展開します。

弥彦・三条エリア

三島市、加茂市、彌彦、弥彦村、田上町

テーマ

暮らしに息づく「ものづくり」文化  
「匠のわざ」の凄さが伝わる逸品の展示や、ものづくり体験、職人の真実を支えた食文化を味わうことなどを通じて、各地の暮らしの中に息づくものづくりの文化を感じてもらう事業を展開します。



# 【参考】新潟県の概要版パンフレット

【中ページ】

